

07. 移住者への深堀りインタビュー！

●東京都→長野県→みどり市

齋藤 大介さん・麻生さん：1ターナー（自営業）

File 01



Q 移住のきっかけは？

『移住』という意識ではなく、自分のやりたい仕事のための広いアトリエと夫のレコードストアが開ける物件への引越しでした。子どもの小学校入学のタイミングにあわせて引越しをしました。

Q みどり市を選んだ理由は？

物件価格と東京の距離、住環境の条件との折合いが一番良かったためです。その当時住んでいた長野市よりも東京に近く、自然豊かなところで、野菜やハーブの栽培、草木染めをしたかったので、そのための畑が近くにあることが絶対条件でした。

Q 移住にあたり、どのような準備を？

約2年かけて物件を探し、毎回1泊して10回ほど物件探しに通いました。子どもが通うことになる候補の学校見学、退職の申し出などを行いました。移住視察の際の補助金などは調べましたが、あてはまるものがなく、金銭的にかなりの負担にはなりました。また、住宅ローンの審査もなかなか通らず、2人とも自営業で、転職を伴う、県を跨ぐ引越しなので住宅ローンを組むことに本当に苦労しました。

Q どのようなお仕事をしていますか？

移住前は、ものづくり、グラフィックデザイン、イラストレーション、専門学校講師をしており、移住後もアートディレクター、グラフィックデザイナー、イラストレーターをしています。今後は地元のパッケージデザインや壁画、服の草木染め、服のオーダーメイドやワークショップも行いたいと思っています。主人はレコード販売をオンラインと実店舗で行っており、今後は音楽イベントやカフェスペースもやりたいと思っています。

Q 移住前と移住後で変わったことは？

夫婦2人とも自営業になったことです。移住する前は慣れない土地で、いきなり2人とも自営業になることに大変不安を感じました。しかし、いざ移住してみると、移住前に数多く訪れていたことでいろいろな人と関係性を深めることができていたため、周囲の人たちが私たちの情報を広めてくれ、プレオープンも多くの人々が訪れてくれたことで、少し不安は和らぎました。

Q みどり市に移住して良かったことは？

以前も自然豊かなところで暮らしていましたが、厳しすぎない、ほどよい自然環境、街との距離感が魅力で、周りの人は明るく、みなさん声を掛けてくれるのがとても嬉しいです。行政の方も含め、皆さんオープンな印象があります。

Q 休日の過ごし方は？

自営業のため、生活と仕事が切り離せませんが、子どもと遊んだり、保存食作りなどを行っています。

みどり市の魅力

学校から離れた場所だとスクールバスが運行されていたり、学区を超えて通える独自の方針を打ち出した小中一貫校もあり、選択肢があることが魅力です。

ここが大変だった！

隣接する土地が誰の土地か分からず、巨大化した木が生い茂り日差しを遮ったり、雑草の手入れなどに困りました。



Message ～みどり市へ移住を考えている方へ～

移住と聞くと、『〇〇をして生きていくために移住する』のように、堅苦しく考えがちですが、『どんな暮らし方でも溶け込める』『そして応援してくれる気風』をみどり市に感じます。自然もあり、買い物にも困らず、他の都市へもアクセス出来る。すべてにおいて『ちょうどいい』。私たちのように『都会』→『地方』→『みどり市』というパターンもあります。本当にオススメです！

